

地域イノベーション戦略支援プログラム4つの支援メニュー

知のネットワークの構築

要となるプロジェクトディレクター：
小泉 博司
(財)長野県テクノ財団専務理事
○長野県職商工畑一筋37年間
○大型プロジェクト企画・立上げ：知的クラスター創成事業、地域産学官共同研究拠点、地域産学官連携拠点等

医工連携コーディネータ7名を新規配置

- ◇ニーズアプローチの仕組み構築
 - ・連携・つなぎ……………4名
 - ・販路開拓支援……………2名
 - ・必須技術の高度化支援 ……1名
- ◇コーディネータの人物像
 - ・企業OBで実務に精通
 - ・事業終了後を睨み若手も育成

研究者の集積

招聘研究者について
◇セイコーエプソン(株)からの招聘研究者
上原 雅行 博士(医学)
研究テーマ「超高速PCR装置の研究開発・実用化」

◇多摩川精機(株)からの招聘研究者
田中 俊行 博士(工学)
研究テーマ「蛍光磁性ビーズを用いた高感度臨床検査システムの研究開発・実用化」

人材育成プログラムの実施

目指す人材像
◇臨床研究・治験知識を持つ企業研究者
◇医工連携で企業支援する工学系研究者

- ・メディカル機器開発プロセス・市場 動向を理解
- ・レギュラトリーサイエンス・生命倫理等を理解

◇医療機器イノベーションにより医療レベル向上を目指す医療従事者・医学系研究者

- ・医工連携を積極的に実施
- ・医療機器の治験を積極的に実施

◇治験参加等の強い協力意識をもつ一般市民

設備共用化支援のための技術職員の増員

医学的研究解析機器共用化スタート
新規導入設備26機種
(JST:地域産学官共同研究拠点整備事業)
信大保有設備21機種 計47機種をH23.6から共用化のため、技術職員を増員

共用化設備に対する企業ニーズ

- ・共用化説明会に120名が参加
⇒高い注目
- ・既に数多くの使用希望が寄せられている。
⇒技術職員が機器使用等をサポート